

日本工学院専門学校	開講年度	2019年度	科目名	プロジェクトワーク5		
科目基礎情報						
開設学科	マンガ・アニメーション科四年制	コース名	マンガコース	開設期		
対象年次	4年次	科目区分	必修	時間数		
単位数	3単位			授業形態		
教科書/教材	随時データ・プリントを配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。					
担当教員情報						
担当教員	あずみ 棕・高橋 錠	実務経験の有無・職種	有・マンガ家/マンガ編集者			
学習目的						
この科目では、マンガ家デビューとして雑誌やWEBでの連載作家だけでなく、ビジネスマンガやコミカライズなど多種多様な仕事について理解を深めていき、卒業後の作家としての在り方を考えていきます。現役マンガ家・現役編集者と常にディスカッションを行うことにより、制作物に対して明確な方向性を持たせて、各分野に作品を公開していきます。また制作する上では常に〆切や、教員・講師との相談を通してスケジュール管理能力とコミュニケーション能力を重要視します。						
到達目標						
漫画家として、多種多様な作品を生み出す事に必要な、知識・技術・考え方を読切作品の他、コミカライズ・ビジネスマンガ・SNS向けショートマンガの制作を通して身に着けることができる。また制作した作品においては、受講者全体で講評会を行うとともに、外部へと発表していき、フリーランスでの仕事へと繋げていけるように取り組む。						
授業概要	この授業では、マンガコンテンツにおいて多種多様な発表方法と、それを制作する上で必要となる考え方やバリエーションについて学びます。そのため、雑誌やWEBコミック等の連載作品だけでなく、SNSを活用した作品や、企業や製品のプロモーションを目的としたビジネスマンガについても研究を行います。また作品講評会を常に実施し、他学生の作品と自身の作品を比較することで客観的な目線を養います。またこの授業では前期制作として、プロジェクトワーク5と連動し16Pマンガの制作を行う。					
	多種多様な表現での作品づくりを短き期間で制作し、合わせて講評会を実施していく。技術取得の漏れや他学生の作品に触れる理解を逃さないためにも、出席を怠らない。授業時間内だけでは、全ての制作が期日通りに終わるとは限らないため、自宅でも制作に取り掛かること。またビジネスマンガにおいてクライアントの指示や指定は重要なため、教員や講師からのリティク等、アドバイスを聞き洩らさないこと。授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。					
評価方法	種別	割合	備 考			
	課題	70%	課題内容を総合的に評価する			
	成果発表 (口頭・実技)	10%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する			
	平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する			
授業計画 (1回～15回)						
回	授業内容	各回の到達目標				
1回	16P以上マンガ制作時間	16P以上でフリージャンルのマンガ制作 プロット確認				
2回	16P以上マンガ制作時間	現役編集者によるネーム講座 16P以上マンガのネーム作業				
3回	16P以上マンガ制作時間	16P以上マンガのネーム作業				
4回	ビジネスマンガ制作①	店舗の紹介を想定した紹介マンガ2Pを制作 16P以上マンガの下書き作業				
5回	ビジネスマンガ制作②	製品のプロモーションを想定した広告マンガ2Pを制作 16P以上マンガの下書き作業				
6回	16P以上マンガ制作時間	16P以上マンガのペン入れ作業				
7回	ビジネスマンガ制作③	SNSでの発信に合わせた制作方法での広告マンガ4P作成① 16P以上マンガのペン入れ作業				
8回	ビジネスマンガ制作④	SNSでの発信に合わせた制作方法での広告マンガ4P作成① 16P以上マンガの仕上げ作業				
9回	16P以上マンガ制作時間	16P以上マンガの仕上げ作業				
10回	コミカライズ演習①	短編小説を題材としてコミカライズ制作				
11回	コミカライズ演習②	短編小説を題材としてコミカライズ制作				
12回	コミカライズ演習③	短編小説を題材としてコミカライズ制作				
13回	ビジネスマンガ制作⑤	日本工学院の紹介マンガを制作				
14回	ビジネスマンガ制作⑥	日本工学院の紹介マンガを制作				
15回	まとめ	全授業を通してのまとめ 他学生に向けて作品のプレゼン講評会				